

あわだちて物質主義マテリアリズムの淵にゐるたましひのこといかに記さむ

目の奥にマンハッタンはよみがへり旗あればゆく青き旗風

摩天楼ひかりの脚があらはれてわれはソドムの大路をわたる

鳥として目覚むるものは見上げをり摩天楼より母かへり来くを

ニューヨーク、ニューヨークああゾンビよりあをくせつなし夢のふるさと

遺伝子の二重螺旋にひそひそと大宅世継もの語りをり

語るなくしやべり命なくながらふる黄金世紀が扉ドヤをたたくぞ

うるはしくブルックリン橋老ゆるとも明日おもふなしぼるぼるの鳩

あした凝こじるつきの光をくぐりきて白しづかなり伝令の胸

一教師絹雲きぬぐものごとはるかなる言の葉のほか告ぐるものなく

アレクサンドリアとつひにまじはらぬ月光の束をおもひ眠らな

飛行機をつつむ暗闇そをつつみ天の川しろく冷えてゐるなり

いまわれはジェット機といふ籠かごのなか恐竜およく夢を見てゐき

ばさばさと麦秋の麦たふしきてわれは月夜のあはうどりなり

かぎりなく膨張をして冷えゆける泡宇宙おもひボルツマンおもふ

だばはぜのごとくに予算書つづる夜半あはれだばはぜが億をかぞふる

寒月君がふりこぼす芸のかぐはしさ光速Cをこえてほるびき

五月の陽子ひ午線上に熟するとき子の影はひかる輪郭もてり

大量虐殺せよせよと二十世紀ありフォン・ブラウンありわれら末裔

えりまきを巻きてパツパにもどりゆく綿のごとしよ森林太郎

重慶チヨンチン ゆ黄学土きてパチンコに狂ひゆきしはいつの月夜か

夜をこめて渦状星雲うすあをし壁のくづる音のさやけさ

銀河の芯ふたつなること記されて星々はほのに人間めきぬ

との曇りなに悲しうてわればかりものいふ鱈ボラにとり囲まるる

たとふれば昭和三年の茂吉なるバクテリアオファージはバクテリア撃つ
ゆくりなくわれにこころの峠見ゆ夏草ほるぶ速度ばかりに
墓のうへ雲と日のある日曜は旅人のごと吾子あそばしむ
縄文の子らをあらひし千粒の雨をおもへり子の傘に雨
その名鯤科学もて問ふものならず飢ゑかすかなる午後は思へり
われは恋ふ貿易風のなかをとぶ美女すなはち鶴のごときを
おもほえば彼岸のごとき昭和なり草木は銀の戦車をおほふ
メガロポリス山川草木うづめむをぶらぶらとわれ毛のなきむじな
みづからをかすかに生かす算段の灰色の栗鼠となりてすばやし
WWWのかなたぐんぐん朝はきて無量大数の脳が脳呼ぶ
パソコンに黄昏はきてわが上に象の足ひとつ落ちてきたりぬ
悪魔少女に犯さるるあをき花ひとつほほゑむに似て消えてゆくなり
英雄の尿のごとくかがやくは天網かはたインターネット
壮年へゆくしろがねの滲見えてしばらくは鶴のごとき目をせむ
天心ゆひかり飛ばせてわれといふ粒子を宇宙はもてあそびけむ
大量死そのかたすみのひとつ死にさやさやと美髯かがやきやまず
ニユートリノ地球貫通せよ われに花も紅葉もふるさともなし
絵葉書のロシアするとき秋なるをわれはわが歌の内をさまよふ
新生は恋のごとくに來たらむかきらきらと豹は高枝に飛ぶ
つつしみて紺の馬立つ夜半の国 銀漢はこの馬につながる